

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第157号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年5月7日 15時45分ごろ	
発生場所	香川県女木島 女木港鬼ヶ島防波堤灯台から真方位043° 2,900m 付近 (概位 北緯34° 24.5′ 東経134° 04.5′)	
事故等調査の経過	平成21年6月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所） ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 第十八 ^{しんえい} 真栄丸、367トン	
船舶番号、船舶所有者等	134192、大石海運有限会社	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底に擦過傷	
事故等の経過	本船は、艀滓約1,300トンを積載し、船首約3.3m、船尾約4.9m の喫水で、女木島東方沖を航行中、平成21年5月7日15時45分ごろ、 浅瀬に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 南西、風力 1 海象：潮汐 低潮時	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、航行中、船位の確認を適切に行わなかつた可能性があると考えられる。 船長は、浅瀬があることを知っていたものの、以前に無事に航行したことがあったことから、無事航行できるものと判断し、会話に夢中になっていた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が女木島東方沖を航行中、船位の確認を適切に行わなかつたため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	